

コイン仕様・ガス乾燥機

CT - 250G 取扱説明書

トスペット

ご使用前に必ず取扱説明書を読んで、
正しく作業して下さい。
お読みになった後は必ず保存して下さい。

TOSEI 東静電気株式会社

まえがき

このたびは、東静電気の『CT - 250G・ガス乾燥機』をお求め下さいまして誠にありがとうございます。
ます。

このCT - 250G・ガス乾燥機は、数々の特徴を持ち、ご期待に十分こたえ、お店の繁栄をもたらすものと確信いたします。

このCT - 250Gをご使用になる前にぜひこの「取扱説明書」をご一読下さい。

正しく取り扱っていただければ、機械は常にスムーズに働き、優れた性能をいつまでも発揮し、ご満足いただけるものと確信いたしております。

*** 本機を設置する場合『火災予防条例準則第44条、第6号』に該当します。
最寄りの消防署に届けを出して下さい。**

お読みになった後は所定の場所に、大切に保存して下さい。

目 次

1. 乾燥機安全上のご注意	2
1-1) 危険	3
1-2) 警告	4
1-3) 注意	5
2. CT - 250G仕様	6
2-1) シワ防止機構について	6
3. 据付工事	7
3-1) 届出手続	7
3-2) 機械運搬・搬入	7
3-3) 据付工事について	8
3-4) ガス配管工事について	8
3-5) 排気ダクト工事について	9
3-6) 電気工事について	9
4. 作業開始の前に	10
4-1) 電源の供給	10
4-2) ガスの供給	10
4-3) リントフィルター点検	10
4-4) 排気ダクトの点検	10
4-5) 負荷量は適正に	10
4-6) 乾燥機の品物の処理	10
4-7) ガスバーナーの点検	10
5. 運転操作方法	11
5-1) 乾燥機の使用法	11
5-2) 表示部	12
5-3) トラブルモニター	12
6. プログラム修正	13
6-1) 乾燥時間(100円あたり)変更	13
6-2) 乾燥の初動金額を変更する時	13
6-3) 乾燥の温度を変更する時	13
6-4) 冷風の時間を変更する時	14
7. 整備点検	14
7-1) コインの回収について	14
7-2) コインセレクターの点検	15
8. 機械の診断	16
8-1) 定期点検について	16
8-2) 機械の診断	16
9. 乾燥標準チャート	18
10. アフターサービスについて	18

1 . 乾燥機安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください

この取扱説明書「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

お買い上げいただいた、製品(本機)及び取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



危険

この表示を無視し、誤った取り扱いをして危険を回避できなかった場合死亡、重傷、焼損を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1-1



危険

本機に使用する熱源は、LPガス専用のガスバーナーです。その使用方法を誤ると火災や爆発を招く恐れがありますので、下記の内容をお守りください。

本機の周辺では火気厳禁です。

本機の周辺にはボイラー、ストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かないで下さい。又、本機の周辺ではタバコを吸ったり、火気を絶対に取り扱わないようにして下さい。

衣類に入っているライター、マッチ、金属類などは、点火源となりますので、ドラムに投入する前に必ず取り除いて下さい。

本機は、LPガス専用です。他のガスは絶対に使用しないでください。

本機は、水洗専用機です。

・石油系溶剤及び合成溶剤で洗浄した衣類は絶対に乾燥しないでください。

定格以上の負荷量を入れしないで下さい。

静電気の発生しやすい衣類等は、乾燥機内に静電防止紙等を入れて乾燥を行って下さい。

運転中は危険ですので、回転部に手や身体を入れしないで下さい。
巻き込み等けがの原因となります。

衣類の出し入れは、必ずドラムが停止してから行って下さい。ドラムが回転中に絶対にドアを開いたり、手を入れたりしないで下さい。

本機の後カバーを外したままで絶対に運転しないで下さい。
「回転」している部分に触れたり巻き込まれたりして、ケガをする原因となります。

乾燥した衣類は、速やかにドラムより取り出して下さい。
取り出した衣類は、熱いまま積んでおかないで下さい、発火の恐れがあります。

運転中はドアの開閉はしないで下さい。

何か緊急に機械を止めなければならない時は、機械の電源及び元電源を切って下さい。

1-2



警告

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですので絶対おやめ下さい。

万一、本機の内部又は電装部等に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

お客様ご自身で本機を修理・改造はしないで下さい。

火災・感電の原因となりますので、絶対におやめ下さい。修理に関するご相談は、別紙「取扱説明書」をご覧になり、販売店に修理をご依頼下さい。又、警告ラベルの取り外し、破損、改装はしないで下さい。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないで下さい。機械が振動し故障の原因となります。

本機の上に毛布、シーツ等の品物及び容器類、金属類を置かないで下さい。火災や故障の原因となります。

本機上部のスイッチボックス蓋を外す時は必ず元電源を切って下さい。感電の恐れがあります。

内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼下さい。

感電の恐れがあるときは、三相200Vの漏電遮断器の電源を切って下さい。マイコン、インバータが破損する恐れがあります。

本機熱源(スチームヒーター)部及び配管には、手で直接触れないで下さい。やけどの恐れがあります。

本機械は衣類を乾燥する機械ですので、それ以外の目的で使用しないで下さい。

部屋の換気を充分に行ってください。

トラブル解除の運転はしない。

トラブル発生時はトラブルの原因を調べ、処置してから再スタートして下さい。

トラブルの原因を処置しないまま運転すると機械がより危険な状態を招く恐れがあります。

1-3



注意

購入後、年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。
本機の内部に、ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となる事があります。掃除は、特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

機械の操作は、「取扱説明書」を十分熟読し、理解した上で運転して下さい。
不慣れな者が運転する場合は、必ず熟練者立会いの上、運転させてください。

内胴出口温度、クーラー出口温度及び内胴入口温度の関係を常に監視し、所定の冷却水の温度と流量を確保して下さい。

循環及び給排気系統を定期的に掃除して下さい。

機械の接地(D種接地工事)が完全に行われていることを確認して下さい。

2. CT - 250G仕様

外形図

0

仕 様			
内胴直径	900(mm)	正/逆, 一方回転	正, 逆, 一方回転任意切替
内胴奥行	780(mm)	ガス配管	1/2(15 A)
負荷量	22(JIMS21.1)	ガス消費量(KW)	25.6(LPG場合)
温度制御	入口、出口自由制御	排気口径	200(mm)
冷風装置	機械上部より 冷風取入	機械寸法	巾1000×奥1255 ×高1855
ドラム回転数	42(rpm)	電源	AC200V 50/60Hz
モーター容量 (KW/極数)	駆動	0.4/4P	
	ファン	0.4/4P	インバータ制御

2-1 シワ防止機構について

この乾燥機は、運転時間が終了した後も、30秒に1回ドラムが回転しますのでご注意ください。

これは、品物を取り出すまでの間に品物にしわがつかないようにするための動作です。尚、停止する場合は、**ドア**を開いてください。

注意

1. 使用ガスについて

本機はLPガス専用です。他のガスは絶対に使用しないで下さい。

2. 用途について

本機は洗濯専用機です。石油系溶剤及び合成溶剤で洗浄した品物の乾燥には絶対に使用しないで下さい。

3. 据付工事

機械の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくためには、機械の据付、電気工事、配管工事を適正確実に実施しなければなりません。それぞれの専門の工事業者の方に工事を依頼してください。設置要領は該当地区の条例及び条則によるほか、次に従って下さい。

3-1 届出手続

* 本機を設置する場合、『火災予防条例準則44条・第6号』に該当します。

最寄りの消防署に届けを出してください。

3-2 機械運搬・搬入

(1) 輸送する際、ロープ掛して本体が傷まないようにロープの締め過ぎに十分注意して下さい。又、積み降ろしの際の吊具として、本体上部に千鳥配置に、U型フックがねじ止めされています。

(2) 輸送用固定テープの除去

風量調節用のアルミ板(フローバルブ)を輸送中の振動防止のため固定してあります。下記の位置にありますので、運転前に必ずはがして下さい。

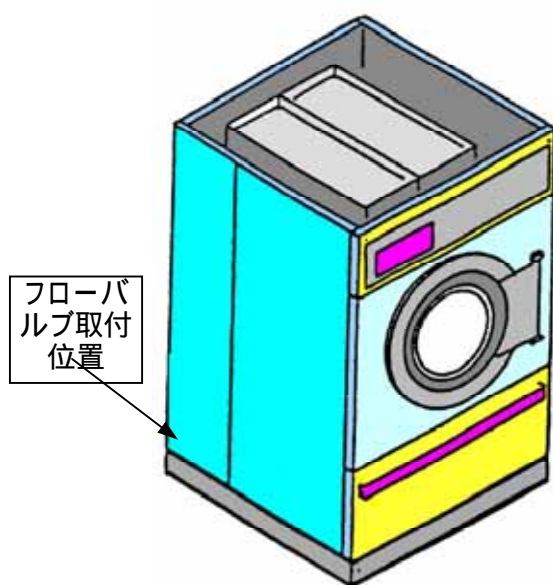


図1

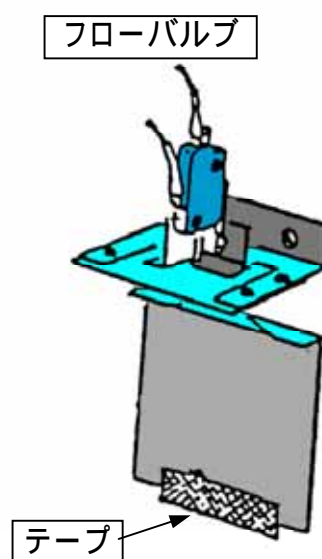
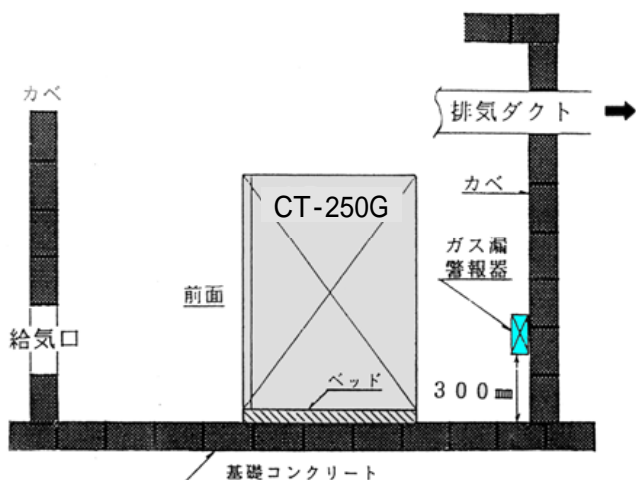


図2

3-3 据付時の注意事項

(1) 使用場所について



- ・密閉されたところでは使用しないで下さい。
(必要でしたら給気口を取付けて下さい)
- ・強い風の吹き込む所では使用しないで下さい。

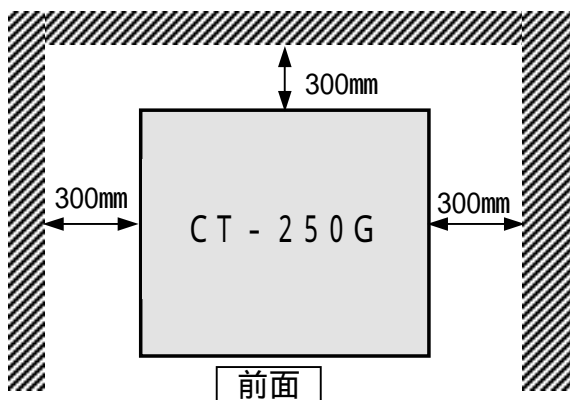
水平レベル

- 1.機械の水平レベルを出し、アンカーボルト等で固定して下さい。
- 2.機械と基礎コンクリートが完全に密着するように工事して下さい。

ガス漏警報器を乾燥機と同室内で適切な位置に取付けて下さい。
(乾燥機より4m以内で床面から300mm以内)

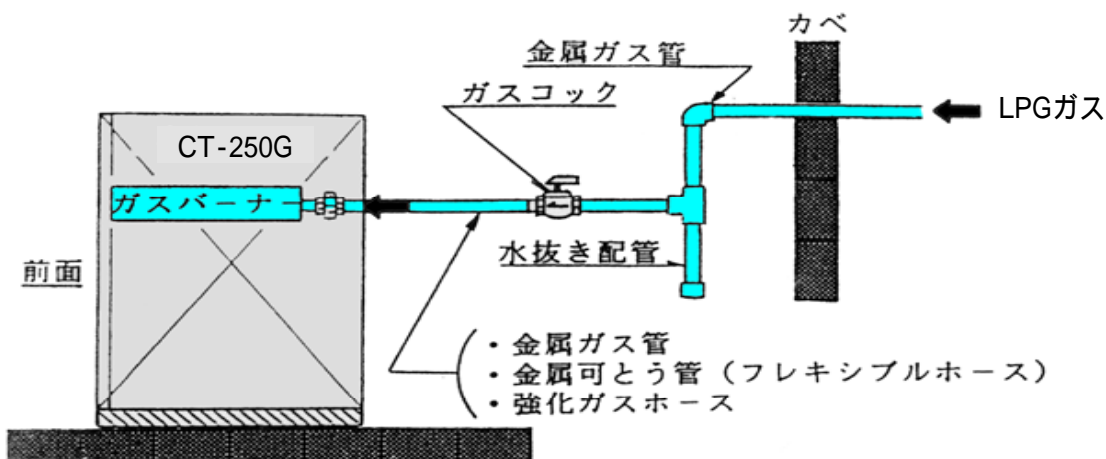
(2) セッティングスペース

- ・壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用して下さい。



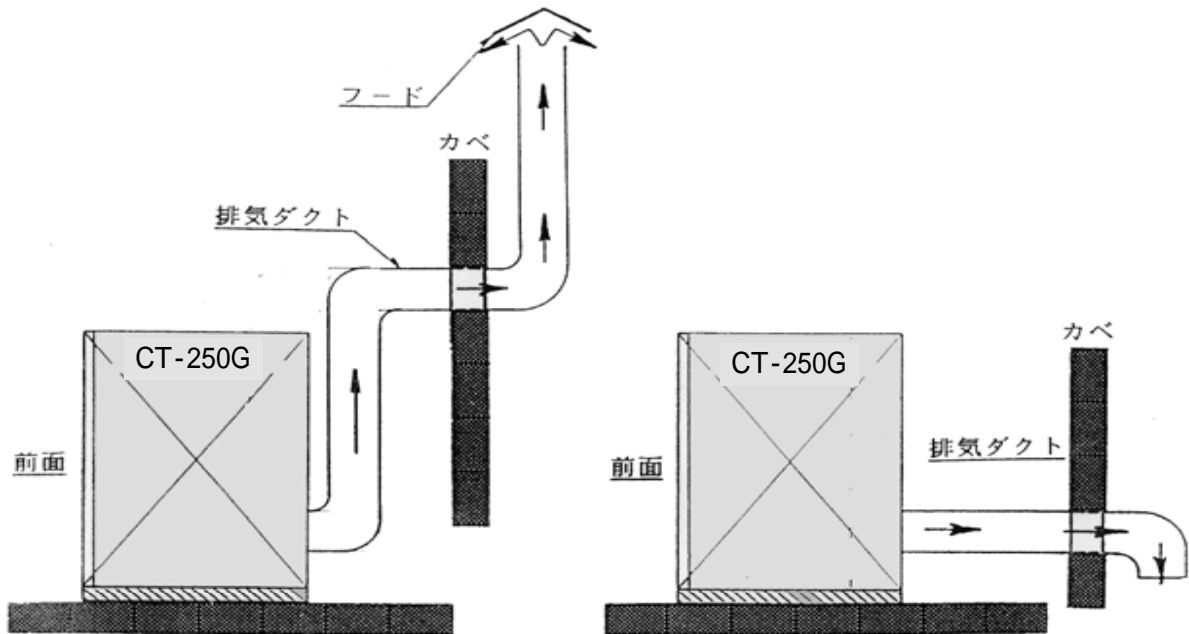
- *メンテナンス時に最低必要なスペースです。必ず確保して下さい。
上方向は450mm以上のスペースを取って下さい。

3-4 ガス配管工事について



- ・本機へのガス配管工事は金属管又は強化ガスホースを使用して下さい。
- ・本機専用のガス元バルブ(ガスコック)を設けて下さい。

3-5 排気ダクト工事について



機械からの排気は指定口径(200mm)によって屋外へ排出して下さい。
(ダクトはステンレス網板、亜鉛網板等の耐熱性、耐食性のものを使用)

排気ダクト長は、直管に換算して「8m以内」としてください。
但しエルボを使用する場合は、エルボ1個当たり「2.6m」に換算してください。

排気方向は「後方」と「上方」と2方向選択できます。

縦引きダクト工事ではフードを取付け、『風・雨等』影響を受けない様にして下さい。

2台以上のガス乾燥機で共用の排気ダクトを使用する場合は、稼動していない乾燥機に逆流しない様対策して下さい。

3-6 電気工事について(電気工事店に依頼して下さい)

電気容量
3相200V
50/60Hz

本機の最大仕様電力は0.8Kwです。

- ・引き込みコードは 2mm^2 以上を使用して下さい。
- ・開閉器(ブレーカー又はヒューズ)は15Aの工事を行って下さい。

接地について

本機の接地工事はD種接地工事を行って下さい。

- ・接地工事は必ず単独アースとして下さい。

回転方向

本機の回転方向はファンモーターにて確認して下さい。

機械前面より見て反時計方向が正規の回転方向です。

4. 作業開始の前に

4-1) 電源の供給

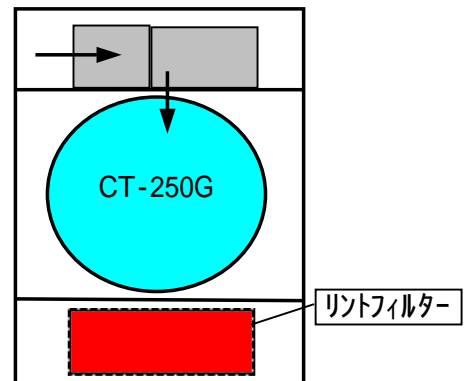
電源スイッチを入れる 「営業中」ランプ点灯

4-2) ガスの供給

ガスの元バルブを開く ガスボンベの残量を確認

4-3) リントフィルター点検

前パネルを開きリントフィルター確認 ゴミ・ホコリがあれば掃除し、掃除後パネルを必ず閉め、開いたままでは絶対に運転しないでください。



4-4) 排気ダクトの点検

排気、ダクトは、長く使っている間には、ゴミ、ホコリ等が詰まることもありますので適時に掃除をしてください。

4-5) 負荷量は適正に

負荷量は乾燥効果を大きく左右しますので、処理能力以上は投入しないようにして下さい。
(定格負荷量の80%前後で行うと仕上がりも良くなります。)

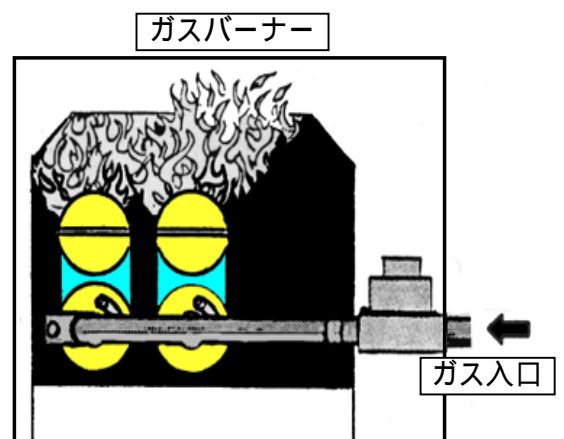
4-6) 乾燥後の品物の処理は素早く

ポリプロピレン系の繊維及び油汚れ(特に動物油)のついている衣類はあたたかい状態で積み重ねておくと自然発火することもありますので、乾燥後の衣類は機械からすぐに取出してハンガー等に掛けて下さい。

4-7) ガスバーナーの点検.....目視確認

着火

最初は配管内のエアが抜けるまでに約50秒位かかります。
スパークは9秒ですので9秒以内に着火しないときは一度スタートスイッチを切って再び入れて下さい。
(確認窓より着火が確認できるまで繰り返して下さい
2回目以降は5～9秒位で着火します。)



5. 運転操作方法

5-1 乾燥機の使用法

操作方法

ご注意!

取扱説明書パネルは、店内に必ず表示して下さい。
室内の換気はしていますか？
ガスの元栓は開いていますか？

スイッチの操作

100円コインを入れます

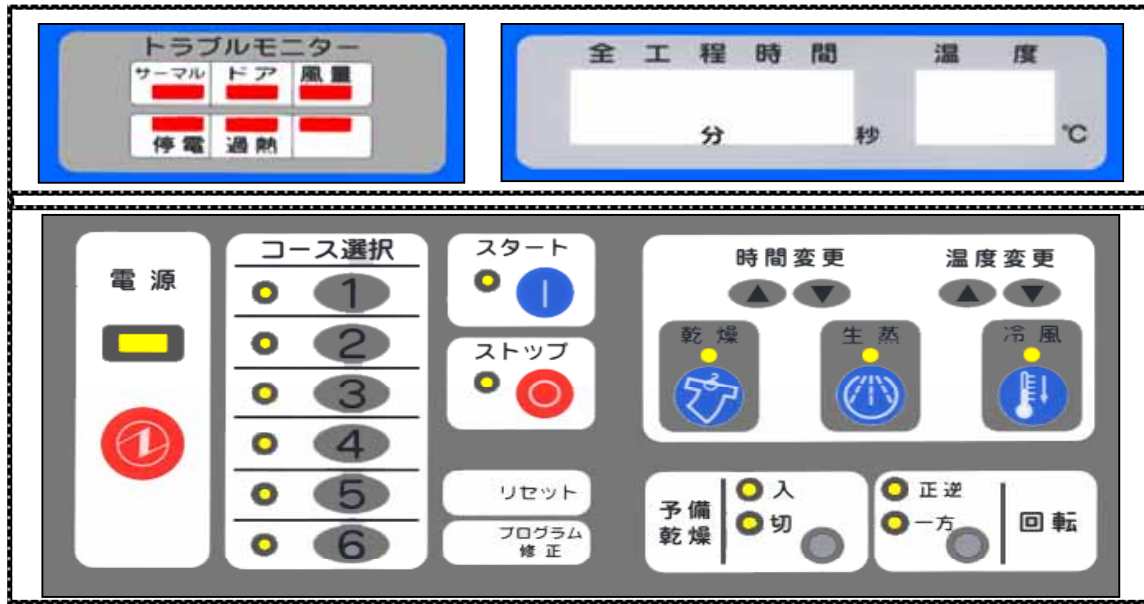
操作の手順

- ・予め設置されている時間(分)が表示されドラムが回りはじめます。
- ・連続してコインを投入すると【設定時間+枚数=表示時間】が表示されます。
- ・乾燥温度は、予め中温にセットしています。
- ・しばらくして着火確認窓からバーナーが着火することを確認して下さい。
- ・万一、安全装置が働いた時は、運転を停止し「ビ、ビ、ビ…」と警報音が鳴り、残り時間に「Er」と表示します。

ご注意!

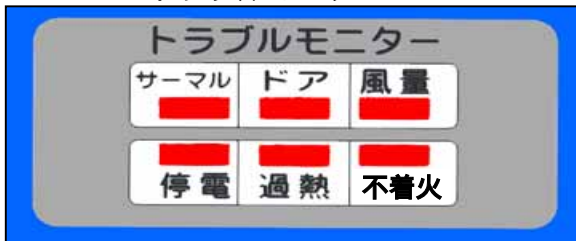
途中で乾燥具合を見たい時、ドアを開ければドラムが止まります。
但し、ドラムが止まっている間も、時間は進みます。
再び、ドアを閉めればドラムは回転を始めます。

5-2 表示部



5-3 トラブルモニター

トラブルモニター



機械運転中に不具合があった場合、ブザーが鳴りトラブルモニターが点滅します。又、全工程時間に「Er」が表示します。

ランプ名称	内容	表示方法		機械の動き	解除方法		
		ランプ	ブザー		ブザー	継続	終了
サーマル	OL-1 サーマルが作動した時	点滅	継続音	ドラム回転停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」
	OL-2 サーマルが作動した時	点滅	継続音	機械停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」
ドア	ドア開の時	点灯	-	一時停止状態	-	ドア閉スタートスイッチ「ON」	リセットスイッチ「ON」
	ドア開でスタートスイッチ「ON」の時	点滅	継続音	機械停止状態	ドア開閉又ストップスイッチ「ON」	-	-
風量	排风量減少の時	点灯	-	-	-	-	-
停電	運転中停電が起き復電した時	点滅	継続音	機械停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」
過熱	温度が設定温度より15以上オーバーの時	点滅	継続音	ドラム回転停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」
	パナ加パノ部の温度が150を超えた時	点滅	継続音	ドラム回転停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」
不着火	パナに着火できない時	点滅	継続音	ドラム回転停止状態	ストップスイッチ「ON」	-	リセットスイッチ「ON」

6. プログラム修正

6-1 乾燥時間(100円あたり)変更

標準 10分 / 100円 8分 / 100円に変更

6-2 乾燥の初動金額を変更する時(コース1)

標準 1コイン 2コインに変更

6-3 乾燥の温度を変更する時(コース1)

標準 55 50 に変更

6-4 冷風の時間を変更する時(コース1)

標準 3分 6分に変更

7. コインの点検回収


7-1 コインの回収について

コインロッカー開閉用キーにて、鍵を開けてロッカー蓋を開けます。
ロッカー扉を開けると中にコインBOXがありますので鍵を開けてコインBOX
を手前に引き出してください。
コインBOX全体が取り出せますので、コインを回収してください。

コインBOXの集金については、使用量によって異なります。
使用量、溜り具合に合わせて定期的な集金を行ってください。

7-2 コインセレクターの点検

フロントパネル全体を上にあげます。
コインセレクターは、フロントパネルに取付けてあります。
コインセレクターの返却レバーを下げて左側の点検窓を確認してください。

コインセレクターに硬貨づまりを起こした場合は、返却レバーを押し下げると、 の方向にカバーが持ち上がりますので、手で大きく持ち上げてつまっている硬貨を取り除いてください。

8. 整備点検

8-1 定期点検について

本機のもっている性能をフルに効果的に発揮させるため、次の点検を行って下さい。

1. ガスバーナー燃焼状態確認 ----- 目視確認
2. 電源電圧の変動はないか。
電圧 180～220V (AC200V ±10%)の間にあるかどうか。
3. 漏電、その他、異常音、異常振動はないか。
4. Vベルトのノビはないか。----- 1ヶ月に1度
5. 各部締付部の緩み点検 ----- 1ヶ月に1度
6. リントフィルター ----- 5～6回に1度(1日に1回)
7. 排気ダクトの点検 ----- 1ヶ月に1度
8. ベアリング部へのグリス注入 ----- 3ヶ月に1度
9. ガスバーナーノズルの清掃 ----- バーナーの状態により定期的に清掃

8-2 機械の診断

NO.	故障内容	原因	処置
1	電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない	・ヒューズ切れ ・制御不良	・ヒューズ入替 ・基板交換
2	ファンモーターが回らない (トラブルモニター サーマル点灯)	・ファン用サーマル作動 ・マグネットスイッチ不良 ・モーターの焼損	・ファン、サーマルのリセット ・マグネットスイッチ点検 ・モーター点検、必要なら交換
3	スタートスイッチを押してもドラムが回転しない (トラブルモニター サーマル点灯)	・ドラム回転用サーマル作動 ・モーターまでの通電なし ・マグネットスイッチ不良	・ドラム回転サーマルのリセット ・モーター回路点検 ・マグネットスイッチ点検
4	ドラムの回転が異常に低い	・Vベルトのゆるみ	・Vベルトを適正に張る
5	温度が上がらない (トラブルモニター 風量点灯)	・ファンモーターの回転方向逆 ・リントフィルターつまり ・排気ダクトのつまり	・モーター端子2線を逆に入替える ファンモーターの回転方向は機械前面より見てファンの回転が反時計方向が正規の回転方向です ・リントフィルター掃除 ・排気ダクト掃除

NO.	故障内容	原因	処置
6	種火に点火しない (トラブルモニター 不着火点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスの元栓が閉じている ・ゴム管が折れている ・LPガスが無くなり掛けている ・ガス管中に空気が残っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスの元栓を開く ・ゴム管の折れを直す ・新しいホソバと交換する ・点火操作を繰り返す
7	ガスバーナーに着火しない (運転中に消化する) (トラブルモニター 不着火点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム管が折れている ・LPガスが無くなり掛けている ・排気ダンプの開きすぎ ・ガス管中に空気が残っている ・ガス圧力が適切でない ・ガスバーナーノズルのつまり ・空気調節が適切でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム管の折れを直す ・新しいホソバと交換する ・排気ダンプを調整する(閉) ・点火操作を繰り返す ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する
8	炎が安定しない (炎がBOX内よりあふれる) (トラブルモニター 過熱点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ・リントフィルターのつまり ・排気ダンプ外のつまり ・排気ダンプの開きすぎ ・排気ダンプの閉じすぎ ・ガス圧力が適切でない ・空気調節が適切でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・リントフィルター掃除 ・排気ダンプ掃除 ・排気ダンプを調整する(閉) ・排気ダンプを調整する(開) ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する
9	黄炎が燃える (炎が異常音をたてる) (トラブルモニター 過熱点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ・LPガスが無くなり掛けている ・ガス圧力が適切でない ・空気調節が適切でない ・ガスバーナーノズルのつまり ・バーナーの空気吸入口にほこりがつまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいホソバと交換する ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する ・販売店に依頼する
10	ガスの臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ・リントフィルターのつまり ・ガス配管の洩れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リントフィルター掃除 ・ガス配管の点検・確認

9. 乾燥標準チャート

乾燥標準チャート

時間 コース	乾燥 温度()	冷風(分)	回転選択
1	70	3	正逆

10. アフターサービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買上げの販売代理店にご相談下さい。

尚、その際に真空包装機の形式名、製造、およびお買上げ時期をお知らせ下さい。

販売店名：

TEL：() - 購入年月日： 年 月 日
後日のため記入しておいて下さい。サービスを依頼されるときお役に立ちます。